

私が同志社女子大学を志望校と決めた理由

メディアについて元々興味があり、映像だけでなくさまざまなメディアについての理論を学べたり、演習をおこなえるということだったので同志社女子大学に決めました。

受験勉強の進め方【1学期】

進路に関して同志社女子大学を考えてはいたものの他の大学も気になっていたため、学校の授業を中心に勉強をしていました。この時期の定期テストは授業で学んだことが出るのではなく模試のような形だったのでこれまで学んだことが自分の中でしっかりと定着しているか確認を兼ねて臨んでいました。

受験勉強の進め方【夏休み】

私は吹奏楽部に所属していたので、部活が夏休みの中頃まであり、他の部活に所属している友達と比べて勉強時間が少なく、少し不安になることがありました。しかし、これまでは部活と勉強の両立であったのに対し、部活が終わってからは勉強一本になり限られた時間だからこそ勉強に集中することができました。

受験勉強の進め方【2学期～入試直前】

大学の過去問を解いて正答率を出すようにしていました。私はそのなかでも英語と古典の正答率が不安定だったので、その2つを特に勉強していました。英語は文法問題をたくさん解いて、古典は高校でやっていた共通テストの演習や過去問、他大学の過去問を解いて出来るだけ古文に触れるようにしていました。

受験期に気を付けていたことやスランプの対処法

私は家で勉強すると他のことに気をとられてしまい、なかなか進まなかったため出来るだけ学校で勉強するようにしていました。放課後は教室で勉強し、土曜日も学校で勉強していました。学校が開いていなかったり、どうしても学校に行けない時は友達と通話をしながらお互いに見張りを兼ねて勉強したりもしていました。

受験生のみなさんへ

入試までは過去問をすることが多いと思いますが、出来るだけ多くの問題に触れることが大事だと思います。入試の時は緊張で解ける問題もわからなくなることがあるかもしれませんが、そんな時はわかる問題からサクサク解いていきましょう！応援しています！！

